

2025年 9 月25日
フジビジネスジェット株式会社

航空機整備事業・格納事業の拡大に向けて 富士山静岡空港内に専用駐機スペースを開設

フジビジネスジェット(株)(略称:FBJ、本社:静岡県牧之原市、代表取締役社長 遠矢源太郎)は、2025年 9 月25日(木)に富士山静岡空港内に、当社専用の航空機駐機スペースを開設しました。

【設置の目的】

FBJは、2020年の設立以来、これまでビジネスジェットの機材を段階的に増やし、現在4機※体制による運航事業を中心に事業展開しております。さらに、2026年度からの国際運航開始を見据え、更なる運航事業の拡大に向けた取組みを進めています。

一方で、国内外のビジネスジェットを所有するオーナー様の機体整備に関する需要も、インバウンドの運航の増加などにより、今後一層高まるが見込まれています。当社では、富士山静岡空港内の格納庫を拠点に、ビジネスジェット整備事業の拡充を進めており、より多様な整備需要に対応できる体制を整えております。

整備事業の拡大にあたり、これまで格納庫内で駐機エリアとして使用していたスペースが、整備作業の増加により逼迫するため、このたび新たに富士山静岡空港内に当社専用の駐機スペースを設置致しました。これにより、自社運航機材を中心に駐機を効率化させ、格納庫内スペースの有効活用を実現します。

※FALCON2000LXS、サイテーションCJ4、サイテーションCJ2×2機

【今後の展望】

2024年の国内におけるビジネスジェットの発着回数※は、約 22,700 回(内訳:国内利用約 16,500 回、国際利用約 6,200 回)と、インバウンドを中心に富裕層旅客の増加や、グローバル企業の活動活発化を背景に、コロナ禍前の2019年に比べて約 5,000 回増加しました。今後もビジネスジェットの運航増に合わせて、整備の需要増加も見込まれる中、当社は国内外のビジネスジェット機体オーナーの整備需要に応えて参ります。※国土交通省 集計資料より

当社の整備士は、一等航空整備士 15 名をはじめ、米国整備士資格であるA & P (Airframe & Powerplant)の所有者 5 名と、国内外の機体整備に必要な有資格者が多数在籍し、様々な機種・国籍機の整備作業に対応が可能であり、高品質かつ安全性の高い整備サービスをご提供致します。

また、ビジネスジェットの一時駐機利用のニーズにもお応えし、整備作業と駐機を一体化したトータルサービスをご用意しております。

【駐機スペース概要】

所在地	富士山静岡空港内(制限エリア西側)
用途	ビジネスジェット機の駐機スペース
敷地面積	約 4,800 ㎡(約 1,452坪)
竣工日	2025年9月16日
駐機可能な 機体サイズ	大型のビジネスジェット機(ガルフストリーム650クラス(翼端約40mサイズ)) まで駐機可能
駐機可能機数	小型機(CJ2・CJ4サイズ)のみで9機 中型機(FALCONサイズ)のみで7機 大型機(ガルフ550サイズ)のみで4機
機能	駐機する機体を地面に固定するため、地面には「機体固定索(タイダウン)」を 49 箇所設置。強風時にも安定した駐機が可能です。

